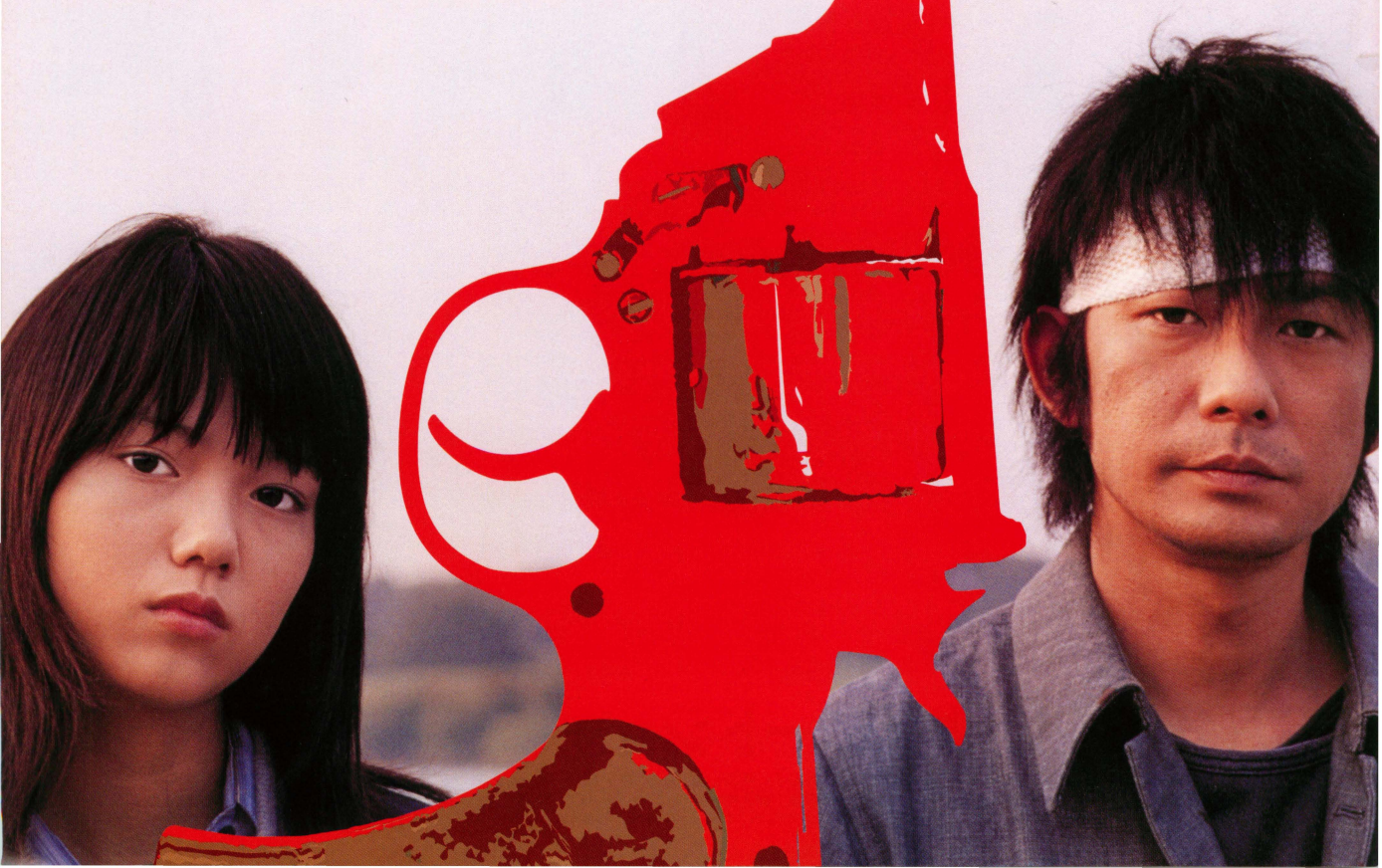


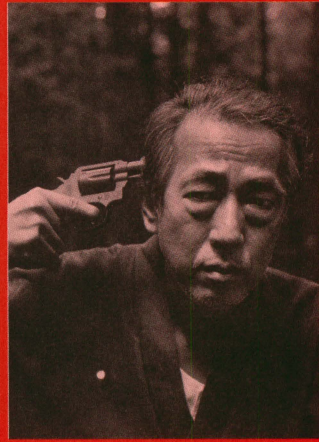
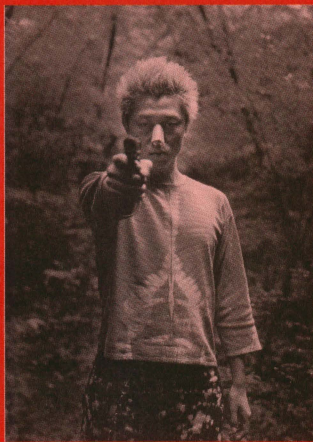
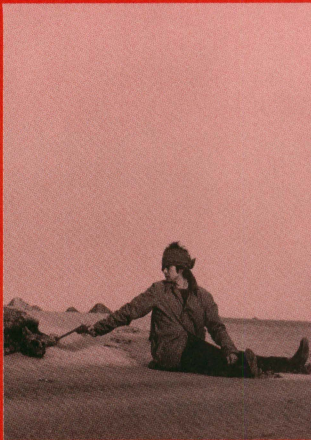
【出演】永瀬正敏、宮崎あおい／野村宏伸／田辺誠一、荒戸源次郎／新井浩文、岸部一徳 【製作】孫家邦、石川富康、尾越浩文 【プロデューサー】菊地美世志 【撮影】安田圭
【照明】上田なりゆき 【録音】柴山申広、柿澤潔 【美術】吉村桂 【編集】日下部元孝 【音楽】Dhai 【監督・脚本】渡辺謙作 【製作】「ラブドガン」製作委員会（リトル・モア
衛星劇場、ポニーキャニオン、フィルムメイカース）【配給】リトル・モア 2004年／35mm／ヴィスタサイズ／DTSステレオ／111分 【公式サイト】<http://www.lovedgun.com/>

ラブドガン 監督：渡辺謙作 永瀬正敏 宮崎あおい 新井浩文 岸部一徳

loved
gun



痛いほど、愛に撃たれる。



- 人は常に美しいものを追い求めてしまう。たとえば殺し屋であってもそれは変わらない。(クボケンジ/メレンゲ)
- えれえ、おもしろじゃん! なんてこった! 言語道断の礼儀知らず渡辺謙作に、映画創りの才能があったとは… (山本政志/映画監督)
- こんな表現、世界ではじめて!? の見たことない感と、心に深落ちる普遍性のマリアージュ。友愛・親愛・独特愛がドッキンドッキン脈打ち続ける映像のフェティッシュ。そこの傑作より、こちらの謙作。独特監督渡辺謙作は、新型感動のヒットマンだ。(秋山道男/プロデューサー、クリエイティブディレクター)
- これはもう非情も情も飛び交う死の商店街ガラガラクジ。引換券を手に劇場へ急げ。愛の特賞を胸に受ける、未知のファンファーレに酔え。(鈴木卓爾/映画監督)
- コインの裏表になった笑いと悲しみ。鈴木清順の弟子、渡辺謙作監督は絆と自由を受け継いでいる。(萩原麻理/エディター、ライター 花椿7月号より)
- カッコいい映画です。永瀬さんもカッコいいし岸部さんもカッコいい。
- 僕は岸部さんをお願いする時はいつも変な役なので、この映画の岸部さんはとても新鮮でした。(多田琢/TUGBOAT CMプランナー)
- 行き着く先のない感情は、他人の心とピストルをも動かしてしまうんだなって思い知らされました。謙作監督バンザイ! (喜多川みさお/n°44カルチャーセクション企画)
- 愛する人に殺されるなんて、絶対に嫌だった。映画を観た今は、愛の籠った弾丸なら、受けてもいいと思う。(岡 未来/HDPエディター)
- 完全耽美主義と女子高生の現実的な不安定: この赤い銃の刺激的な旅は、日本映画に新鮮なエネルギーを発射するだろう。(アレックス・ツァールテン/映画研究者)
- 宮崎あおいがバイクの後ろでピストルを突き上げる角度が全てを語っている。これは革命の映画だ! (阿部嘉昭/評論家)
- にくたらしい。(リリー・フランキー/スモール・ガン)
- 清潔でシャイ! でもおもしろいガンコな人が創った映画、ヒーローもヒロインも100%孤独色のロードムービーですね。「オレにも、ピストル、持たせろ!」(本上まなみ/女優)
- 本当に、にくたらしい、謙作は。(リリー・フランキー2/半立ち)
- お帰り謙作!! お前やっぱ最高だよ!! おめでとう!! 素晴らしい作品だよ!! ではまた新宿で!! (宮下貴裕/NUMBER (N)INE デザイナー)

[順不同]



INTRODUCTION&STORY

——銃弾は撃つ人間の感情によってその色を変える。感情がこもってなきゃ地金の色。悲しい奴が撃った弾は青。憎しみの込められた弾は黒。そして赤い銃弾——

両親の無理心中により一人残され、死んだ父の愛人に憎しみを向ける少女・観幸(宮崎あおい)は、組織の組長を殺して逃げてきた男・葉山田(永瀬正敏)と出会う。観幸は、幼い頃に両親を失い殺し屋になった葉山田に、自分に似た深い喪失感を感じる。もがき苦しみがらも二人はやがて、互いに触れ合うように立ち直っていく。そんな時、葉山田を狙って凄腕の殺し屋・丸山(岸部一徳)と、若いチンピラ・種田(新井浩文)がさし向けられる。丸山は、かつて葉山田が父のように暮っていた育ての親であった。そして、対決の時、葉山田、丸山、種田、そして観幸……それぞれの決断は《赤い銃弾》だけが知っている。★過去に決着をつけようとする疑似親子関係の初老の男と青年、未来を取り戻そうとする少女、未来しか持っていないような若造。鎖を握るのは色つきの銃弾……。ファンタジックな道具立てで「生と死」「愛」といった普遍的かつ壮大なテーマをかける映画「ラブドガン」。映画的な迫力と緻密さに満ちた、鮮烈なエンタテインメントムービーの誕生である。

GOODS

- [CD] Dhai [cacophony] (felicity)
downyの青木ロビンが、若命優仁、DJ Geru-Seeと新たに結成したバンド・Dhai(ダル)による「ラブドガン」サウンドトラックに新曲を加えた1stアルバム。定価:2,500円
- [BOOK] 伊藤和彦著「ラブドガン」(リトル・モア)
映画を原案とした、型破りな書き下ろし小説の登場。殺し屋と少女を主人公に、非情な世界で愛と幻想が交錯する物語。定価:1,575円
- [PHOTO BOOK] 「LOVE GUN」(リトル・モア)
宮崎あおいをフィーチャーし、映画「ラブドガン」の未公開ショットを多数収めた限定写真集(撮影・黒瀬康之)。撮影の1年後に、宮崎あおいが撮影現場に舞い戻り、自分のカメラで撮り下ろしたスペシャルフォト＆エッセイも収録。定価:2,100円

NUMBER (N)INE × ラブドガン

NUMBER (N)INEより「ラブドガン」Tシャツ発売決定。
NUMBER (N)INE本店とテアトル 新宿にて99枚限定販売!
6月29日(火)リリース! 定価:8,400円

EVENTS

- [トークショー]
岸部一徳×新井浩文×渡辺謙作監督×上野昂志
6月25日(金)18時50分の回終映後
【オールナイト上映】
vol.1「特集・渡辺謙作」
監督デビュー作「ブーブーの物語」に、プロデュース＆主演作「波」を加えた渡辺謙作特集上映。6月26日(土)23時30分開映。
上映作品:「ラブドガン」+「ブーブーの物語」+「波」…トークショーあり
*「ブーブーの物語」(監督:渡辺謙作/出演:上原さくら、松尾れい子)、「波」(監督:奥原浩志/出演:乾朗太郎、小林麻子)
vol.2「ザ・ハードボイルド〜ニッポンの奇妙な殺し屋たち」
渡辺監督が敬愛する鈴木清順、大和屋竺監督の伝説の「殺し屋」映画を上映するハードボイルド・ナイト。7月10日(土)23時30分開映。
上映作品:「ラブドガン」+「荒野のダッチワイフ」+「殺しの烙印」…トークショーあり。
*「荒野のダッチワイフ」(監督:大和屋竺/出演:港雄一、廣赤見)、「殺しの烙印」(監督:鈴木清順/出演:安戸登、真理アンヌ)
★オールナイト上映各日とも料金2,500円均一。

ラブドガン

監督:渡辺謙作 / 永瀬正敏 宮崎あおい 新井浩文 岸部一徳

www.lovedgun.com/

6月19日(土)よりロードショー

初日(6/19)舞台挨拶 出席者(予定):永瀬正敏、宮崎あおい、新井浩文、岸部一徳、渡辺謙作監督
11時35分の回終映後および14時の回上映前 ★イベントの整理券等詳細は劇場またはオフィシャルサイトまで
●特別鑑賞券1,500円発売中(当日一般1,800円の処)/劇場窓口にてお買い上げの方には、ポストカードをプレゼント

新宿駅東口 伊勢丹新館隣りB1F
テアトル新宿
03-3352-1846 www.cinemabox.com
11:35 14:00 16:25 18:50

